

事

例11 お店で

私は手指にマヒがあるため、小さな物をつかんだり、文字を書いたりするのに時間がかかります。そのため、レジで財布からお金を出したり、窓口で記入をしなければならぬときに、「早くして」という目で見られると、余計に焦ってしまいます。

こ

んな配慮をお願いします

手や手の指にマヒや欠損がある場合、細かな作業が苦手なため、マヒや欠損がない人と比べ動作に時間がかかります。ゆっくりであればできることでも、急がなければならない状況では焦ってしまい余計に時間がかかることもあります。周りの人はできる範囲で本人がやろうとしていることを見守るようにしましょう。

また、求めがあれば、本人に確認しながら代筆するなどの対応をしましょう。

事

例12 対人関係で

私は脳性マヒのために全身の運動動作に不自由があります。言葉を発することはできませんが、スムーズに話すことが難しいです。そのため、話していることが伝わっていないと思うことがあります。周りの人は分かったふりをしているようで悲しくなります。

こ

んな配慮をお願いします

脳性マヒの人は、言葉を発する機能にも障がいがあることが多く、スムーズに話すことが難しい場合があります。

また、発語の困難だけでなく、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまうために自分の意思を伝えにくいことがあります。

周囲の人は本人が伝えたい内容がなかなか分からずに戸惑ってしまうことがあるかもしれません。そのようなときには、分かったふりをするのではなく、分かるまできちんと尋ねるようにしましょう。

